

令和6年

秋の全国交通安全運動

令和6年9月21日(土)～9月30日(月)

～世界一の交通安全都市TOKYOを目指して～
9月30日(月)は交通事故死ゼロを目指す日です

大切なあなたを
まもる
ヘルメット



じてんしゃ
自転車と
ヘルメットは
セットだよ

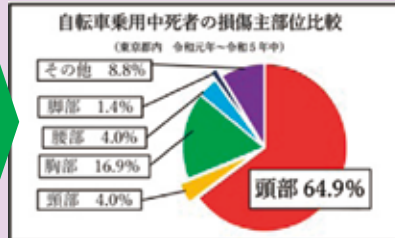
第12回東京都交通安全ポスターコンクール(令和6年度実施)
知事賞 小学校5年 大島 咲優(おおしま さゆ)さんの作品

あなたにもかぶって欲しいヘルメット

自転車事故による死者のうち、**頭のケガが主な原因**
で亡くなっている人は何割でしょう？



正解は



自転車乗用ヘルメット
関連情報はこちら



東京都内で自転車を利用するみなさんへ

東京都の条例では、**自転車**利用中の**事故**により、**他人にケガ**をさせてしまった場合などの**損害**を**賠償**できる**保険**等への加入が義務となっています!!



「自転車保険」の他に、**個人賠償責任保険の特約**が付いている**火災**や**自動車**、**傷害**の保険や共済などがあります。

自転車保険に加入するときのポイント

- 事故相手への賠償に関する補償があるか
 - 賠償の保証金額は十分か
 - 示談交渉サービスはついているか
- ぜひチェックしてみてください。

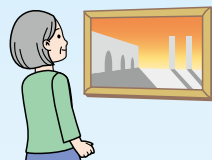
※東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例

運転免許の自主返納について

運転免許をお持ちの高齢者のみなさまが運転をやめられた際の生活をサポートするため、高齢者運転免許自主返納サポート協議会による、「運転経歴証明書」を提示した場合の様々な特典があります。「運転に自信がなくなった」、「家族から運転が心配と言われた」という方、運転をやめるかお悩みの方は、お近くの警察署にご相談ください。

自動車の運転をやめられた高齢者のみなさまに対する生活サポートの趣旨に賛同した企業、店舗、文化施設等において、様々な特典が受けられます。運転経歴証明書の交付を受けた年齢65歳以上の方は、お持ちの運転経歴証明書により東京都の「高齢者運転免許自主返納サポート協議会」の加盟店や一部の美術館等で各種優待を受けることができます。

ノーカーライフを応援します



美術館の入館料割引



シニアカー購入割引



旅行商品の割引



メガネ・補聴器等購入割引

Mr.マリック、
私も運転免許を返納しました!

詳しくは、こちらをチェック! →



高齢者運転免許自主返納サポート協議会の加盟店はこちら



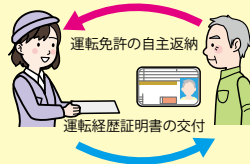
— 運転経歴証明書とは —

運転経歴証明書は、運転免許証と同様に身分証明書として用いることができます。(身分証明書として対応していない機関もありますのでご注意ください)

運転免許試験場、運転免許更新センター、各警察署で申請することができます。

運転経歴証明書の交付申請ができる方

- 現住所が東京都内にあり、
- 有効な運転免許を自主返納する方
- 運転免許の自主返納をした日から5年以内の方
- 運転免許の有効期間が過ぎてから5年以内の方



★免許返納及び運転経歴証明書の詳しい申請方法は、**警視庁ホームページ**をご覧くださいか、**お近くの警察署(交通総務係)**にお問い合わせください。

自転車安全利用 5則

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

ドライバーの皆さんへ！

「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持って運転しましょう！

STOP！横断歩道！

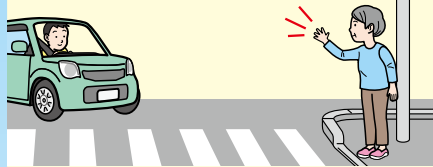
歩行者を守るための3つのチェックを実践しましょう！

ダイヤモンドや
標識を **チェック**



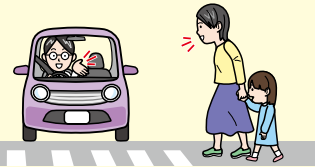
横断歩道等があることを示す**ダイヤモンド**や、横断歩道の存在を示す**標識**を確実に確かめましょう。

横断歩行者が
いることを **チェック**



横断歩道付近の歩行者は横断するとの前提に立ち、**歩行者を見つけたら手前で止まり**ましょう。

歩行者と意思の
疎通を **チェック**



ドライバーが歩行者を優先していることを、**手で表現するなどアクション**で示しましょう。

運転者は法令上、横断歩道等を横断している、又は、横断しようとしている歩行者等がいるときは、手前で一時停止をして、その通行を妨げてはいけません。

※道路交通法第38条「横断歩道等における歩行者等の優先」罰則3月以下の懲役又は5万円以下の罰金

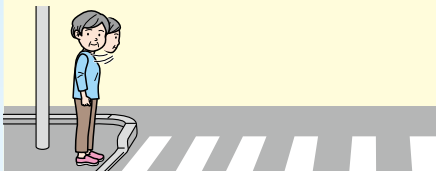
歩行者の皆さんへ！

横断歩道を安全に渡る方法 **3つのチェック✓+1 (プラスワン)**

歩行中の方が犠牲となる交通事故が多く発生しています。ご自身の大切な命を守っていただくため、歩行者の皆さんには道路を安全に横断するための、「簡単で効果的な3つのチェック」を実践していただくようお願いいたします。

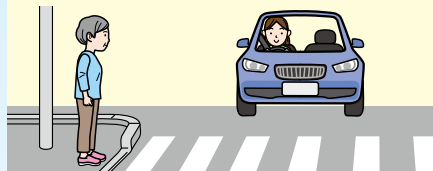
横断歩道を渡る前に、「車が来ていないかチェック」「車が止まったかチェック」、横断歩道を渡っている間も「車が来ないかチェック」です。これら「3つのチェック」とともに、車のドライバーに対して、これから道路を横断するという意思をはっきりと示す「+1 (プラスワン)」アクションを起こしていただくと、さらに効果的です。

車が来ていないか
チェック



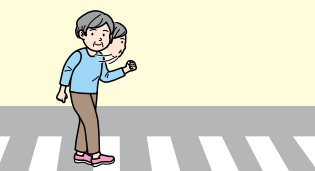
横断歩道を渡る前に
左右から車が来ていないか
確認しましょう

車が止まったか
チェック



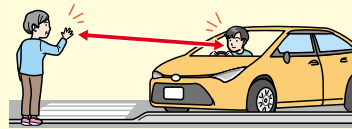
横断歩道を渡る前に
車がきちんと止まったか
確認しましょう

横断中も車を
チェック



横断歩道を渡っている間も
左右から車が来ないか
確認しましょう

さらに
効果的な
**プラスワン
+1
アクション！**

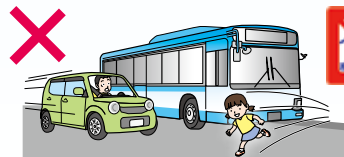
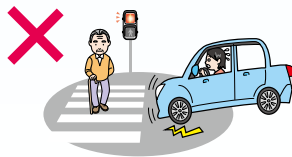


横断歩道を渡る時は、これから渡ることをアクションで（手をあげる・車の方を見るなど）運転手さんに渡りたい気持ちを伝えよう！

交通ルールを守りましょう！

歩行者は横断歩道を渡りましょう。

横断禁止場所での道路横断はやめましょう。「信号無視」や「斜め横断」、「車のかげからの飛び出し」などとても危険な行動です。絶対にやめましょう。



令和6年秋の全国交通安全運動における 東京都の重点は次に掲げる4項目です

重点① 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止

【反射材を活用しましょう】

日没時間が早くなり、夕暮れ時や夜間の重大交通事故が増加する傾向にあります。歩行者や自転車の方は、明るい服装や反射材用品を身に付けるなど、ドライバーに自分の存在をアピールしましょう。

【保護者の方へ】

都内では、こどもの交通事故が多く発生しており、飛び出しを原因とした重大事故も発生しています。また、歩行中の交通事故死傷者数を年齢別に見ると、7歳が最多です。保護者の方には、日頃からお子様に道路の安全な通行方法を繰り返し教えていただくようお願いいたします。

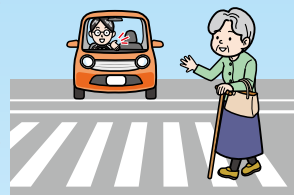
【高齢者の方へ】

歩行中の死亡事故を年代別に見ると、高齢者が4割以上を占めています。高齢者側による信号無視や横断違反が原因となったケースも多くあります。慣れた道でも、必ず交通ルールを守り、十分な安全確認をお願いします。

【全ての歩行者の方へ】

横断歩道を横断する際は、青信号でも「右・左・右」を確認してから渡りましょう。車は自分に気づいていないかもしれないという危機感をお持ちいただき、安全な交通行動を実践してください。

お酒を飲んで道路に寝転んでしまい、車に轢かれる重大事故が発生しています。お酒を飲んだ時は、家に帰るまで気を引き締めましょう。



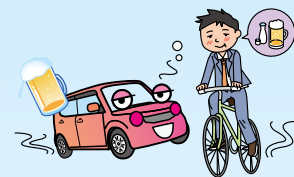
重点② 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶

【ライトは早めに点灯しましょう】

夕暮れ時の事故を防ぐために、車のライトは早めに点灯しましょう。ハイビームを適切に使用し、歩行者の存在や前方の状況を早めに把握しましょう。

【飲酒運転は絶対にやめましょう】

飲酒運転は他人の命をも脅かす危険極まりない犯罪行為です。車もバイクも自転車も特定小型原動機付自転車も、お酒を飲んだら絶対に運転してはいけません。



重点③ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

【自転車を利用する方へ】

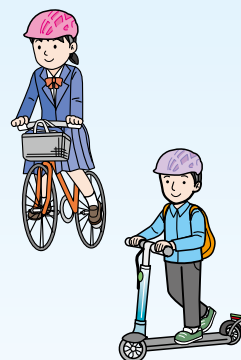
自転車を運転する際は、「自転車安全利用五則」を守りましょう。自転車乗用中の交通事故の多くは交差点で発生しています。交差点では一時停止と安全確認を確実にし、交通事故防止に努めましょう。

【特定小型原動機付自転車を利用する方へ】

都内では、特定小型原動機付自転車（いわゆる「電動キックボード等」）利用中の交通事故が多く発生しています。利用する前には必ず、交通ルールを確認して安全に利用してください。

【自転車・電動キックボード等を利用する全ての方へ】

自転車・電動キックボード等を利用する際は、全ての利用者が乗車用ヘルメットをかぶりましょう。都内に限らず、飲酒運転をはじめ一定の違反行為（危険行為）を3年以内に2回以上反復して行った者は、自転車・特定原動機付自転車運転者講習の受講が命ぜられます。



重点④ 二輪車の交通事故防止

二輪車の死亡事故を通行目的別に見ると、通勤中に最も多く発生しています。二輪車を運転するときは、慣れた道でも速度を控えて、安全走行を心がけましょう。車の間のすり抜けや無理な追い越しは大変危険なので、絶対にやめてください。ヘルメットのおごひもをしっかりと締めて、胸部・腹部を守るプロテクターを着用しましょう。

